

期待と不安のスタート

岩日タイムズ

発行者
岩瀬 日本大学
高等学校
ソーシャルメディア部

鈴木 千章
鴨志田 絃花

新型コロナウイルスの影響続く

令和2年度入学式

4月7日、本校体育館において、令和2年度入学式が行われた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小した式典であったが、晴天にも恵まれ、224名の新入生は、岩日生としてのスタートを切った。

時間短縮のため、一人ひとりの呼名は省略し、各クラスごとと担任の号令のもと



密接を防ぐために新入生の座席間隔を配慮した



ドキドキのクラス発表

の未来を自分でしっかり決める」「たくさん仲間を作る」ことを心に留めておいてほしいとメッセージを送った。(理事長告辞・校長式辞の要旨は裏面に掲載)

に起立し、齊藤克朗校長より新入生224名の入学許可が宣言された。

土浦日本大学学園の佐藤豊理事長は、

多くの学校の中から本校を選択してくれた新入生と、保護者に対する感謝の言葉を述べた上で「将来の夢の実現のために、この学校で力を発揮してほしい。勉強でもスポーツでも、力を発揮できる環境とサポートする先生が揃っている」と新入生を激励した。

齊藤校長は「桜梅桃李」の言葉を引いて「自らの個性を磨き、それぞれの花を咲かせてほしい」、高校3年間で「自分



高校生活最初のホームルーム(1-4)

在校生を代表して生徒会長の堀中ひなさんからは、松下幸之助の言葉から、失

敗を恐れず、何事にも積極的にチャレンジしてほしいと呼びかけた。新入生誓いのことばでは、6組の和田明日那さんが、より良い高校生活を送れるよう努力し、自ら学び考える力を身に付け、先輩の伝統を受け継ぎ学校や地域に貢献する力を惜しまない、と宣言した。



緊張した面持ちで担任の話を聴く

式典終了後、1学年スタッフが紹介された。その後、担任とともに教室に移動し、感染防止のため、限られた時間の中で教科書の購入や提出物など、担任の説明に集中して耳を傾けていた。

入学して初めてのホームルーム。例年ならば教室の後ろから保護者が温かく見守る光景が印象的であるが、残念ながら保護者の参加は叶わなかった。それでも新入生の晴れ姿を力メラに収めようと、体育館前や正門付近で記念撮影をする姿が見られた。(時杉)

佐藤理事長
告辞(要旨)

まさに春爛漫と申したいところですが、突然の発生によって世界を震撼させている感染症によって、皆さんの晴れの姿を、保護者の皆さまとともに祝いをするところが、残念ながらその願いもかなわず、新入生だけの入学式となつたことを私としても

大変残念に思います。時間短縮でクラスごとの呼名になりましたが、本当に立派な生徒が224名も揃ってくれた。岩瀬日本大学高等学校にふさわしい生徒たちが来てくれました。感激しています。

君の将来の夢実現のために、私たちの学校を選んでくれたからです。感謝の思いでいっぱいです。皆さんは、自分の将来の夢の実現のために、この学校で力を発揮してください。もちろん勉強だけでなくスポーツにおいても皆さんが力を発揮できる環境、サポートする先生が揃っていると確信しています。今、希望で胸がいっぱいの人もいれば、

多少の不安をもっていてもいる人もいます。そんな不安も一掃してこの学校の先生方に夢を託していただきたい。そのために校長先生を先頭に、学年集団はもちろん、全教職員が一致団結してこの新入生を、学校が安全・安心の場である、ということに力を注いで成長させていたきたい。そのことを諸君、そして諸君の保護者の皆

さまにお約束したい。皆さんには大きな可能性がある。その可能性を十分に発揮し共に前に進みましょう。私は期待しています。頑張りましょう。



先輩から
メッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。高校3年間で多くのことを学び、多くの友を得て、大きな夢に向かって、のびのびと実り多い高校生活を送ってください。そして岩日に新しい風を吹かせてください。

不慣れなことが多いと思います。何か困ったことがありましたら、いつでも優しい先輩たちや先生方に遠慮せず相談してくださいね。私達とともにいろいろなことにチャレンジして行きましょう！(鈴木)

齊藤校長
式辞(要旨)

令和の時代を迎えて初めての春、224名の新入生諸君、入学おめでとうございます。私たちは皆さんのご入学を心待ちにしておりまし。今、皆さんの心は入学の喜びとともに高校生活への期待に胸ふくらませていると思います。

咲く花で、それぞれの花に独自の美しさがあり、他とは比較できない一つひとつにその美しさがあるという意味をもっていきます。人と比べることなく自らの個性を磨き、自分にしか咲かせることができない素晴らしい大輪の花を咲かせてほしい。

実現のために、また長い人生を生き抜いていくための基盤づくりとして、有意義に過ごしていけるように、心に留めておいてほしいことが二つあります。一つは「自分の未来を自分でしっかりと決めよう」

江戸時代に活躍した坂本竜馬は「人の世に道は一つということはない。道は百も千も万もある」という言葉を残しています。将来に希望を持つことの大切さ、夢や

目標に向かって自分にやれることできることはたくさんある、ということ。大切なのは、将来、自分がどうなっているか、ではなく自分がどのように生きていくか、ということ。ビジョン(未来図)として描かなければならない。

時には、いくら努力してもうまくいかないこともあるでしょう。しかし、挑戦する前から無理だと決めつけるのではなく、絶対やってみせる、できないはずはない、という強い気概を持つ。何事にも前向きに挑む姿勢が、次の

224名の新入生諸君の高校生活が、未来への架け橋として素晴らしいものとなることを祈念し、心より祝福いたします。皆さん、素晴らしい3年間にしてくださいませう。



編集後記

入学式が行われた7日、7都府県に緊急事態宣言が発令され、現在も日を追う毎に感染者数や死者数が増加しています。新入生が一日も早く登校して、日常の高校生活が送れることを祈っています。学校休業中の部員に代わり、顧問が制作しました。(時杉)